

起因物、事故の型：その他の装置、設備 - 崩壊・倒壊の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	3~4	剥離作業で床の汚れを削っていた際、横に倒して端に寄せていた机が倒れてきて頭にぶつかり負傷した。	29	150101	10~29
1	8~9	構内において、被災者は、プレス機オイルタンク（0.6m×0.6m×1.0m、重量50kg）の移送作業を行っていた。同僚1名がハンドフォークを引き、被災者がオイルタンクを支えていたところ、傾斜に差し掛かりオイルタンクがバランスを崩して転倒し、右足にオイルタンクが落ちてしまい負傷した。	65	50101	—
1	15~16	文化教室での机の片づけ作業中に、同じ作業をしていた者が、机の天板を広げようとしたところ、広げきれずに机が倒れてしまいその際に本人の左足に当たり、裂傷と解放骨折を負った。同時に机をよける際に右腕をひねったものである。	63	150101	—
3	10~11	電源装置の入出力盤作業中に於いて、盤をハンドリフトに乗せて移動中、方向転換時に盤のバランスが崩れ転倒しかかった為、転倒方向下部に入り込み、それを支持しようとしたが、盤重量に耐えきれず転倒してきた盤に下半身が接触し、股間部裂傷と右足大腿骨骨折を負った。更に転倒した盤が右足甲部に落ち、甲部を骨折した。	33	11409	100~299
3	9~10	イベントホール開店準備時、夜間防犯用フェンスを移動させていたとき、フェンスのバランスが崩れて倒れ、フェンスが右足に当たり、打撲及び右足中指を不全骨折した。	49	80201	50~99

3	12~13	客室にて清掃作業中、天井の非常灯の電球を交換しようと4脚のテーブルの上に乗って作業をしていたところ、4脚の脚が1本折れて、バランスを崩して後方へ転倒し、背中・腰・首を床に打ちつけた。	46	140101	500 ～ 999
4	10~11	オフィス内で朝礼中、ホワイトボードを回転させようとしたところ右足に倒れてきて、右足親指付け根を骨折し、右足甲を7針縫った。	55	90103	10 ～ 29
4	10~11	婦人服売場作りの為、備品置場から棚板を取り出す作業をしていた際、取った棚板をいったん壁に立てかけておいたところ、後ろから棚板がバタバタと倒れてきて怪我をした。	46	80201	300 ～ 499
4	16~17	メダルを回収している際に、サービス扉を外して立てかけていたところ、通りすがりのお客様の足が扉に当たり、扉が倒れて左膝に当たった。（お客様は当たったことにも気付かず、ケガもない。）外傷はなかったが痛みがあり、立つのも困難となり、後日に半月板断裂と診断された。	43	140309	10 ～ 29
4	13~14	駐車場機械敷地にて機械を分解した時、機械を支えた木のブロックがずれていたため部品をはずしてバランスが悪くなり、機械が倒れかかった。	76	30309	1~ 9
5	10~11	2号機ボイラー屋外（1FL）において、ボイラー化学洗浄用仮設配管の敷設を4名で実施していた。配管吊治具（以下「治具」）を使用して1本目の配管敷設を終えた後、当該配管横に治具を移動させる際、傾けた状態で治具を横引するため、作業員3名で支えていた。治具の車輪が反被災者側に動いた際、治具のバランスが崩れ転倒し、被災者の肩甲骨付近を強打した。	64	30302	30 ～ 49
6	11~12	休転作業で使用のリース品返却及び工場内片付け作業中に、工事で発生した古ベルトが工場内に放置されているため、2名にて古ベルトをシャーリングで切断しようとしていた。シャーリングに古ベルトを押し込んでいる際、鉄板送り用のローラー付テーブル（幅1150×奥行き200×高さ850、重量約70kg）が、ベルトと接触し倒れ、作業員2名の右足甲が挟まれた。	22	30309	50 ～ 99
7	10~11	オペラ劇場にて照明のシュートという作業の準備をしているときに、パネルがひっかかり倒れその前にあったスピーカーも倒れて被災者が下じきに	56	100109	10 ～

		なり足を骨折。			29
7	18~19	既設水槽の外筒壁廻り解体作業中。外筒同士を接続するボルトをはずしたため、外筒側壁を溶断中に側壁が被災者側に倒れ挟まれた。	37	30302	10 ~ 29
7	13~14	施設のリネン倉庫内で、排泄物等を片付けるため中腰状態のとき、ステンレス製（棚高さ140cm位）の排泄カートとして使用していた棚のキャスターが外れ、仮止めをしようとしたときに棚が傾いて倒れ、右上腕を打ち、その衝撃で腰・背中に違和感を覚えた。	57	130201	—
7	8~9	利用者ファイルをキャビネットから取り出そうと引き出したところ、キャビネットごと倒れた。その際、側にあったベビーチェアと倒れたキャビネットの間に手を挟まれ、右手薬指を骨折した。	62	130201	100 ~ 299
7	14~15	原料プラントの空ラック置き場へ空のラックを置きに行ったときに、元々並んでいた空ラックのうち1台が列からはみ出して並んでいた。このため、自分が持って来たラックを排水溝に向かって、傾斜があり床が不安定な場所に置いて、はみ出したラックを直そうとしたところ、自分が持って来たラックが倒れ、左足首に当たり負傷した。	40	10109	100 ~ 299
7	11~12	倉庫よりトラックタイヤの搬入作業中、タイヤのバランスを崩したため、自身の足にタイヤが当たり、足を折った。	49	11701	10 ~ 29
10	13~14	メダルを保管している倉庫で、約100kgのメダルが入った専用のストッカーを移動させようとした際、ストッカーが傾き、左足の甲上に倒れてしまい、負傷した。	30	140309	30 ~ 49
10	16~17	10階朝礼会場の耐火被震吹付作業準備の為に朝礼台の移動を両名で実施していた。600枠1段4スパンと600枠1段3スパンに、それぞれ取り付けしてあり、建枠の足元には、移動用のキャスターをかけていた。転倒防止の控えを外し、朝礼台を前に引き出そうとした際に、バランスが崩れ、朝礼台が前に倒れ、被災者は、コンクリート床との間に下半身が挟まれ、被災し	53	30201	10 ~ 29

		た。			
10	11~ 12	被災者は、店内のレジカウンター内にてレジ下右側に立てかけておいた紙用の裁断機が倒れてきて右足首を強打し負傷する。	48	140201	10 ~ 29
12	17~18	舎内にて、ビニールを張る作業中、立てかけていた換気扇（動いてはいない）をずらそうとして倒れてしまい、その際、右足のくるぶしあたりにあたってしまい、その箇所を後日、病院で診察を受けたところ、右足のくるぶし付近の骨折及び靭帯損傷と診断された。	75	70101	1~ 9
12	9~10	日配の売場前で、豆腐を台車にのせて動かそうとしたとき、その台車が本人の胸に倒れてきた。台車の一方に豆腐がのっていたため、その重さで倒れた。作業日も胸の痛みはあったが通常通り作業した。しかし日にちが経過しても痛みがあったので病院へ行き、骨にひびが入っていることが分かった。	63	80201	10 ~ 29
12	15~16	ORタイヤの空気充填中、リングがしっかり入っておらず、そのとき風圧で近くにあった大型トラックのタイヤが吹き飛ばされて、大型トラックのタイヤの下敷きになり、仰向きに倒れて頭を打ちつけた。	49	80209	10 ~ 29
12	9~10	当社事業場において、店頭販売準備のため、車輪付きのサンプルケースを押して移動していたところ、出口前の側溝の隙間に車輪が挟まり、サンプルケースが倒れ、左足先に落下し骨折した。	39	140209	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html